



人文科学研究の フロンティア

京都大学人文科学研究所要覧 2001年

個人研究

■ 人文学研究部

教授	古代文献と失われた伝承の現在 古代インド・ヴェーダ祭式の構造と歴史的展開の研究	井狩彌介	18
	詩のことばの総合的な認識へ フランスの詩学	宇佐美齊	52
	近代社会における知識の布置 知識と社会制度	阪上 孝	24
	「御真影」をめぐる物語 19世紀における明治維新	佐々木克	58
	働く機械と読む機械 フランス革命と近代的主体の確立	富永茂樹	64
	粘土版が語るシュメール社会 シュメール行政・経済文書の研究	前川和也	66
	植民地支配と「人の支配」 近代朝鮮の政治と社会	水野直樹	68
	「知のトポロジー」を求めて 近代アジアにおける日本の法と政治	山室信一	76
	「日本帝国史」への途 「日本植民地帝国」の経済史的研究	山本有造	74
	文明の中のいのちのかたち 前近代日本の文明史的研究	横山俊夫	32
助教	言葉の森を分け入って 文学理論の研究	大浦康介	34
	Colonial Office文書が示唆するもの 戦前期日本の工業化と華僑ネットワーク	籠谷直人	90
	ゲノム研究と生命観・人間観 現代社会における生物学・生命科学	加藤和人	36
	古都・「伝統」・文化財 近代天皇制の文化史的研究	高木博志	38
	レンブラントから光琳へ 近代日本の芸術と西洋	高階絵里加	40
	人間の範疇化と序列化 人種・エスニシティ論	竹沢泰子	42
	人類学のフロント・ラインを歩く 在日米軍を中心とする軍事共同体の人類学的研究	田中雅一	92
	文献学のダイナミクス ヴェーダ文献の生成と伝承の研究	藤井正人	94

はしがき	阪上 孝	1
21世紀人文科学のフロンティア		4
新たな研究体制へ		8
73年の歩み 制度の流れ——沿革		10
73年の歩み 研究の流れ		12
共同研究・個人研究一覧		14

助手

明治前期の政治過程と旧藩士族の史的 研究	落合弘樹	97
ソコニルコト 近代日本民俗誌システムの研究	菊地 暁	98
共和国のイデオロギー フランス第三共和政期の政治思想と精神医学	北垣 徹	100
天文学からみる社会の内と外 江戸時代天文学の文化史的研究	小林博行	102
カースト社会を生きるムスリム 南アジア・ムスリム社会の社会構造	小牧幸代	103
数世紀を比較史的視点から分析 近世ヨーロッパの国際金融研究	坂本優一郎	104
現代身体論の史的背景をさぐる 近代西洋医学発展史研究および身体論	田中祐理子	105
文献言語を読み解く 古インド・イラン語における接続法の研究	堂山英次郎	107
近代批評、あるいは思惟と存在のはざま ポール・ヴァレリーと20世紀の思想	森本淳生	116

■ 東方学研究部

教授	はじかれ、こぼれおちるもの 清代の文化と社会	井波陵一	20
	財政システムから見た帝国統治 近世中国の財政と社会	岩井茂樹	50
	中国民間の語り物文芸 中国の小説、演劇及び説唱文学の歴史	金 文京	54
	シャカムニの表象を通して見る 南アジア亜大陸北西地方の歴史考古学研究	桑山正進	22
	神話と儀礼 中国古代の伝承文化研究	小南一郎	56
	中国美術の様式と意味 五千年美術の様式的、図像学的研究	曾布川寛	60
	敦煌写本に見る学校と教材 敦煌写本の言語史的研究	高田時雄	26
	長寿のサイエンス 中国伝統科学の思想史的考察	武田時昌	28
	空間造形の伝統を原点に遡る 中国建築の様式・技法・空間	田中 淡	62

刑罰とシルクロード 中国古代中世の法制	富谷 至	30
道気神三位一体の宗教——道教 道教思想研究	麥谷邦夫	70
中華世界と工業化社会 近代中国の綿紡織業	森 時彦	72
「其れ厳として上に在り」 先秦時代の金文	浅原達郎	78
漢文化圏と蔵文化圏の境界へ 川西走廊の漢蔵諸語の記述言語学的研究	池田 巧	80
世界最大の政党の歩み 中国共産党史の研究	石川楨浩	82
アフガニスタンとイスラーム イスラーム東漸史の研究	稲葉 穰	84
電子仏典の三界 仏教研究知識ベース——禪仏教を例として	Wittern, Christian	48
「芸術」とは何か 中国芸術理論史研究	宇佐美文理	86
国家はどのように誕生したのか 古代中国の考古学研究	岡村秀典	88
異文化のフュージョン インド・中国における仏教の学術と実践	船山 徹	44
漢字と漢字コードのはざま 文字コード理論	安岡孝一	46
北宋仏教美術から見える世界 中国仏教絵画の研究	大原嘉豊	96
中国古典 その源と流れ 中国中世学術史の研究	木島史雄	99
三世紀中国の学問世界における古典解釈 魏晉南北朝時代の注釈学	古勝隆一	101
東アジア伝統医学における疾病分類 中国隋唐期における疾病認識	東郷俊宏	106
民族間交流と言語接触 客家語およびその周辺言語の記述研究	中西裕樹	108
南北朝史の再検討にむけて——制度史の観点から 中国古代中世の官制史	藤井律之	109
中国近世史を読みなおす 中国近世の国家支配の研究	古松崇志	110
イスラーム世界における南アジア ムガル朝時代の歴史叙述の研究	真下裕之	111
文化像の再構築 モンゴル時代の文化政策と出版活動	宮 紀子	112
華南海域世界の変動 近代華南海域地域の社会経済変動	村上 衛	113
さまざまな文字を自由にコンピューターで扱うために 文字定義情報に基づく文書表現系に関する研究	守岡知彦	114
小学——文献学的中国語学 中国小学史	森賀一恵	115

■ 人文研共同研究私見

斎藤清明 117
(ジャーナリスト)

共同研究

■ 人文学研究部

失われたテキストの発見と再評価

後期ヴェーダの言語と宗教——ヴァードゥーラ・アヌーアーキアーナの研究 井狩彌介 122

「いやらしさ」と創造性

ボルノグラフィ研究 大浦康介 124

往還する知の運動

進化論と社会 阪上 孝 126

明治維新期の社会と情報

変革期における情報収集システムと活用の研究 佐々木克 128

あなたは贈り物を捨てられますか？

フェティシズム研究の射程 田中雅一 130

生活世界の大変貌

1960年代の研究 富永茂樹 132

国家形成の比較研究

発掘、文献研究の新成果から国家形成の理論構築へ 前川和也 134

植民地史研究の新たな視座

日本植民地支配——朝鮮と台湾 水野直樹 136

テキストの政治学

危機の時代における理論と批評 森本淳生 138

文化相渉活動の諸相とその担い手

境域を越える文化の形成・変容の分析と文化連関学の創出に向けて 山室信一 140

文明化をもたらす言語をもとめて

安定社会と言語 横山俊夫 142

■ 東方学研究部

過渡期の文字資料を読む

三国時代の出土文字資料 井波陵一、富谷 至 144

国制と社会のせめぎあい

中国近世社会の秩序形成 岩井茂樹 146

時代精神を読み解く

元代の社会と文化 金 文京 148

中国とインドを往来した僧たち

訳経僧伝研究 桑山正進 150

疑古と釈古とのはざまに

中国文明の形成 小南一郎 152

中国美術の図像学

古代、中世美術と石窟寺院の研究 曾布川寛 154

カトリック・ミッションと中国語

16・17世紀アジアにおける言語接触 高田時雄 156

漢字情報基礎論の試み

インターネット時代における漢字の未来 武田時昌 158

中国技術の伝統

その特質について生活科学技術を中心に検証する 田中 淡 160

スーフィーの言葉の記録

『帰真総義』の研究 濱田正美 162

儒仏道三教交渉の諸相

三教交渉の研究 麥谷邦夫 164

中国近代史研究の国際拠点

中国近代化の動態構造 森 時彦 166

研究業績一覧 168

原典会読と共同研究 182

図書 184

漢字情報研究センター 186

海外学術調査・国際交流 191

公開講座・講演会の紹介 194

出版物 196

教育への貢献 人文科学研究協会 201

歴代職員 202

施設 204

組織・所員 206

研究・教育経費 207